

第6学年 算数科学習指導略案

指導者 渡部 芳子

1. 単元名

比べ方を考えよう ～ 単分量あたりの大きさ ～

2. ねらい

単分量あたりの考え方をを用いると、数値化して比較できることよさに気づき、進んで生活に生かそうとする。

異種の2つの量について、割合の考えを用いて表し方や比べ方を考える。

単分量あたりの考えを用いて混み具合や速さを比較することができる。

速さの意味や速さの公式を理解する。

3. 本時の展開 (1/16)

児童数 男子11名 女子9名 計20名

・異種の2つの量が異なる場合の混み具合の比べ方を理解する。

学 習 活 動	センターの指導主事の支援
1. 本時の課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">面積も人の数も違う時の混み具合を比べる方法を考えよう。</div>	・生活の中から、混み具合を調べる場面の問題を提示していただきたい。 ア面積が等しくて、人の数が違う場合 イ人の数が等しくて、面積が違う場合 ウ面積と人の数が等しい場合 エ面積と人の数が違う場合 この4通りの問題を出していただき、エの場合について、比べ方を考えていくようにする。
2. 問題について自力解決をする。	
3. 解決方法について話し合う。	・子どもたちの話し合いに随時参加していただきたいと思います。
4. 課題についてまとめる。	
5. 本時の学習の振り返りをする。	